

環境に優しいクリーン農業

農業用使用済みプラスチック類を回収



7月11日、ハウスビニールや肥料袋、育苗箱などの農業用使用済みプラスチック類の回収が行われました。これは、白根市、農協などの関係機関・団体と農家の代表で組織される「白根市農業用使用済みプラスチック等適正処理推進協議会」が、産業廃棄物である農業用使用済みプラスチック類を適正処理しようと実施したものです。

この日、農協各支所に集められた使用済みプラスチックは72トン。同協議会では、環境に優しいクリーン農業のため、この回収を11月にも行う予定です。

次世代を担う子どもたちにきれいな川を 信濃川クリーン作戦



7月15日、美しい信濃川と中ノ口川を次世代の子どもたちに残そうと、信濃川クリーン作戦が行われました。この作戦は、信濃川・中ノ口川堤防沿いの9地区で一斉に行われ、各自治会やボランティアなどが大勢参加しました。

白井地区で行われた開会セレモニーで吉沢市長は「一人ひとりが環境を守り、次世代の子どもたちに受け継ぎましょう」とあいさつ。同地区では、白井橋下流河川敷とその周辺の清掃を行いました。この作戦でゴミが約3トン(普通のトラック10台分)集められたほか、多くの不法投棄を回収しました。

犬の散歩は、ふんの後始末を忘れずに



空き地の雑草は、害虫が発生する要因の一つです

自動販売機には回収容器を設置しましょう



理し、ゴミを捨てられない環境をつくりましょう。

空き缶回収容器の設置義務

飲料水を販売する業者は、販売する場所に回収容器を設置し、ゴミの散乱防止に努めてください。自動販売機など売り場周辺を常にきれいにし、消費者への環境美化意識の啓発をお願いします。

美しく住みよい白根市を

毎日の生活の中で、ごみは必ず出ます。「だれも見えていないから」「自分だけじゃないから」という無責任な人たちの行為が、他人に迷惑を掛け、環境にも負担を掛けることとなります。

一人ひとりがマナーを守り、自分たちのごみの出し方に責任を持ち、美しく住みよい白根市をつくりましょう

美しく住みよいまちづくりを目指して 白根市環境美化推進条例を制定



ごみの不法投棄は絶対にやめましょう

空き缶などの投げ捨てや粗大ごみの不法投棄、犬のふんの放置は後を絶たず、大変多くの苦情が市へ寄せられています。こうした行為を少しでもなくし、美しく住みよいまちづくりを目指した「白根市環境美化推進条例」が制定され、十月一日から施行されます。この条例には罰則が規定され、悪質な行為者には罰金が科せられます。

白根市環境美化推進条例

美しく住みよいまちづくりを進めることを目的とした白根市環境美化推進条例は、ごみ等の投げ捨て禁止、飼犬のふん害防止、空き地の適正管理、自動販売機に空き缶等の回収容器の設置義務の四本の柱からなっています。

市民(旅行や仕事などで本市に滞在する人や通過する人も含む)、犬の飼い主、空き地の所有者、事業者など自らがそれぞれの責任において環境美化に努めることを定めたもので、その特徴としては、ごみ等の投げ捨て違反は五万円以下、犬のふん害については三万円以下の罰金が科せられることです。これは、何度も違反を繰り返す場合、さらに改善勧告及び命令に応じない場合に罰金を科することとしています。

しかしながら、この条例の目的は違反者を処罰するためのものではありません。きれいなまちづくりを推進するため、一人ひとりのモラルの向上を図ることを目的として制定されたものです。また、環境美化推進条例は広域的に実施することにより効果的であることから、白根地域広域事務組合の構成市町村(白根市、小須戸町、味方村、月潟村、中之口村)で十月一日から同時に施行されます。

ごみ等の投げ捨て、散乱禁止

空き缶、空き瓶、たばこの吸い殻、粗大ごみなどを、公共の場所に投げ捨てたり、散乱したりしないようお願いします。

空き地の適正管理

空き地の雑草を放置しておくと、害虫が発生し、周辺に住む人に大変迷惑をかけることとなります。また、生い茂った雑草は、火災の発生や交通の障害も懸念されます。

土地の所有者や管理者は良好な生活環境を保持するため、土地を適正に管理しなければなりません。雑草の除去など適切な措置を行ってください。

ごみは、いったん捨てられた場所に繰り返し捨てられる傾向があります。管理する土地または建物にごみが投棄されたときは、管理者の責任で処理しなければなりません。

空き地などを管理者する人は適正に管理

犬のふんの放置

飼犬を散歩させる際には、ふんを処理する道具を忘れずに持っていきましよう。

飼犬が公園や道路など公共の場所であふんをしたときは、飼い主は直ちに後始末をしてください。また、公園や学校の砂場で、飼犬にふんや尿をさせないようしてください。

まちの美観を損ねるだけでなく、環境衛生上の問題が生じてくることもあります。屋外で、ごみを適正に収容できる回収容器(ごみ箱や吸い殻入れなど)が設置されていない場所では、ごみは持ち帰りましょう。ごみ箱が設置されている場所では、きちんと分別してごみ箱に捨ててください。